

ANMC21 研修実施報告書

1 研修名	ITS (Intelligent Transport System: 高度道路交通システム) 研修
2 目的	研修参加者間の意見交換や関連施設の視察、さらに、「第 20 回 ITS 世界会議 2013」への参加を通じ、各都市において交通問題の対策構築に取り組んでいくことができる人材を育成する。
3 担当局	東京都知事本局
4 実施日	平成 25 年 10 月 15 日 (火) ~17 日 (木)
5 参加都市・参加者	<p>参加者計 8 名 (各都市の代表者のみ下記に記載)</p> <p>バンコク バンコク都 交通運輸局 政策企画部長 バンジョン ルウグラタナマ氏 ほか 1 名</p> <p>クアラルンプール クアラルンプール市 交通局 システムアナリスト ロジータ ビンティ リズアン氏 ほか 2 名</p> <p>マニラ マニラ首都圏開発局 運用部門部長代理 カルロス エマルソン氏</p> <p>台北 台北市 交通局 技術長 シュ フーチー氏 ほか 1 名</p>
6 研修概要・ 研修の様子 (写真など)	<ul style="list-style-type: none"> 各都市の施策に関するプレゼンテーション及び意見交換 視察 「第 20 回 ITS 世界会議 2013」への参加 総括プレゼンテーション及びディスカッション <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>プレゼンテーション</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交通管制センター</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>総括ディスカッション</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>集合写真</p> </div> </div>

7 成果

研修初日、東京都青少年・治安対策本部担当者のほか各都市の参加者が、それぞれの都市の交通問題の現状と課題への取組について発表を行った。これにより、各都市の交通問題の特徴を把握することができ、さらに、参加者間の相互理解を深めることができた。

2日目は、交通管制センターを視察。ここでは、センターが収集した道路交通情報を関係機関へ情報提供する仕組みや、交通渋滞解消のために信号機の調整を行う方法についての説明を受けた。参加者は、モニターに映し出されたリアルタイムの交通情報を参考にしながら、車の流れに応じてどのように信号機や交通情報板のコントロールを行っているかを確認した。より専門性の高い知識を効果的に吸収できる視察となり、研修後に実施したアンケートにおいても有意義であったとの意見が多数見られた。

また、参加者は東京ビッグサイトで開催された ITS 世界会議にも3日間を通し参加した。本会議でのセッションの聴講や展示ブースの見学から、東京都を始め世界の最新の ITS 技術についての情報収集を行うことができた。参加者の中には、東京都のブースに展示されていた東日本大震災時の都内の交通状況と震災後の取組についてのパネルに関心を持ち、さらに理解を深めたいという理由から、詳細な資料を要望する声もあった。さらに本会議では、バスの走行中スマートフォン上に道路交通情報や災害発生時の緊急避難通報などが表示される最新の情報通信技術も体験。実際にバスに乗り、スマートフォン上に連続的に表示される様々なサービスを体験した参加者からは、最先端の情報通信や制御技術を自らが体験できたことは、自都市におけるシステム導入へのヒントを得る大変有意義な機会となったとの感想が寄せられた。

3日目の最終日は、総括ディスカッションを実施。本研修で得られたことは何か、またそれらを今後どのように活かしていきたいかについて、それぞれの都市が発表した。各都市の発表内容の要点については以下のとおり。

バンコク：

ITS 会議では、GPSシステムについて学ぶことが多かった。色々なアイデアが散りばめられた新技術を学ぶことができた。また、交通管制センターのような中央管理室の必要性についても再確認した。バンコクの中央管理室は非常に規模が小さく精度が高くないのが問題なので、東京都のセンターを参考にしながら、バンコクのシステムも充実させていきたい。

クアラルンプール：

東京に来て、運転者の教育について考えさせられた。教育システムや取り締まりのシステムの強化について、上層部に提案していきたい。また、スマートフォンを使用した情報提供についてのショーケースも、非常に興味深かった。クアラルンプールではスマホの普及率が高いので、それらを利用した交通情報の提供を推進していきたい。

マニラ：

交通管制センターでの視察からは、東京都が様々なシステムを導入し交通管理を実施していることが理解できた。マニラでは、依然として人の手を使って交通管理をしている。東京都が導入している方法を学んで、このような方法に少しずつ移行していきたい。また、ITS 世界会議でのビッグデータ利用に関する講演では、スマホを使って情報収集をし、さらに予測していく、という取組を知り大変参考になった。これは交通管理のみでなく、災害管理にも導入できる。この知識をマニラにも還元していきたい。スマートフォンが非常に普及しているマニラでは、大変有効な方法だと思う。

台北：

東京都の東日本大震災後の活動や、その後の準備と予測についての取組が参考になった。台北もアジア太平洋の地震が起きるエリアにあるので、東京から学べることはたくさんあると思った。交通管制センターでは、災害時に一般車両は都心の外へ、緊急車両は中へ入るようなシステムが構築されていることを知り、大変参考になった。信号のバックアップ機能も重要だと感じた。

最後に、全体を通じて、今回の研修では東京都と4都市からの参加者が積極的に議論をし、情報共有を行う場面が多々見受けられた。「色々な都市が集まり情報共有することができ非常に貴重な機会になった」と、今回の研修を高く評価する感想も見られた。総じて、本研修の成果は高いものであったと考えられる。